## 8. 立断面計画

## (1) デザイン計画

#### 1-「築上町のシンボルとしての構え」

- ・議場はファサード面の建物中央に配置し、波や風を思わせる築上町を体現したシンボリックな形態とすることで、政治の透明性、地域密着性を表現します。
- ・木目調バネル材を遠くから視認できるように、最上階の展望デッキや車寄せの軒裏に採用することで、築上らしさを表現します。
- ・「ちくじょうプロムナード」には植栽を検討し、季節感を大事にしたオープンスペースとして整備し、周辺環境を彩ります。

## 2-「周辺環境と調和する設え」

- ・周囲の山々の広がりに合わせ、水平方向の広がりを強調する庇を各階に設置します。
- ・圧迫感を軽減するために国道側、県道側から十分セットバックするとともに、波型の壁面等を採用することにより、大きな建物ボリュームを分節します。
- ・設備機器等は道路から見えないよう目隠し壁の設置や環境色彩基準に遵守した色彩の採用等、京 築広域景観計画に則った計画とします。

# (2) 仕上計画

### 「高耐久な仕上の採用とメンテナンス性を考慮した納まり」

- ・外壁は耐候性塗装、施釉タイル、アルミ樹脂複合板、アルミ建具等、鉄部は溶融亜鉛メッキ等、 耐久性の高い材料を選定します。
- ・タイルは有機系接着剤張りとし、建築物の定期調査報告における全面打診の必要がない工法を採用します。(引張接着試験により確認する方法による)
- ・各階にメンテナンスデッキを兼ねた庇を設置します。
- ・室内からも清掃可能なよう縦滑り出し窓を採用するなどメンテナンス性の高い工法や納まりとします。

## (3) 断面計画

- ・「国土交通省営繕部整備課 建築設計基準」(令和元年度)に則り、滞在時間の長い室(事務室等)の天井高さを 2600mm とします。1 階待合部分は主要な窓口で多くの来庁者が見込まれるため、基準よりも 500mm 高い 3100mm とします。
- ・大梁はプレストレストコンクリート (PC 梁) を採用しているため、梁貫通部分が通常よりも限定されます。そのため、大梁下部から天井仕上面までに充分な設備スペースを確保します。

